

案件概要表

I. 提案事業の概要	
1. 対象国名	ジョージア
2. 案件名	道路トンネル管理の高度化推進プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	ジョージア国では、貿易振興と国際物流の中継地としての機能強化を図ることを目的に南北国際回廊の整備を進めている。この整備プロジェクトでは、延長9kmにも及ぶ長大なトンネルが掘削されることになっている。しかし、体系的にトンネル等道路構造物の維持管理は行われていない。安全な道路交通の確保及び対象地域の安定的な発展を図るうえで、適切なトンネル管理が求められる。
4. プロジェクト目標	トンネル管理の高度化を図るための基本的なデータ／内容が整理され、点検手法が確立する
5. 対象地域	トビリシ市及びKvesheti地域
6. 受益者層	直接受益者：地域開発インフラ省道路部道路維持担当職員 間接受益者：東西ハイウェイおよびKvesheti-Kobi間道路利用者
7. 生み出すべきアウトプット及び活動	<p><アウトプット></p> <ul style="list-style-type: none"> ① トンネル台帳の様式が確定し、主要なトンネルの台帳が確立する ② トンネル点検ガイドラインが作成され、外注のための仕様書等が確定する ③ トンネル管理高度化計画が策定され、道路局内で啓発される <p><活動></p> <ul style="list-style-type: none"> ① 日本のトンネル台帳をたたき台として、ジョージアで必要となるトンネルデータをジョージア側と日本側とのワークショップで決定し、既存および新設トンネルをモデルとしたジョージア版トンネル台帳を作成する。 ② 日本のトンネル点検手法をたたき台として、ジョージアで必要となる点検項目、点検方法を確定する。また、コンクリートの損傷状況評価等の実習を行う。これらにより外注に必要な仕様書等を作成する。 ③ 上記①および②の高度化を図るため、点検支援技術、非破壊検査技術の導入や管理データベースの構築を目指した道路トンネル管理高度化計画を策定し、本事業の成果として道路局内で認知・実用化されることを目的とした成果発表会等を開催する。
8. 実施期間	2023年10月～2026年2月（計2年4か月）
9. 事業費概算額	9,997千円
10. 現地カウンターパート	地域開発インフラ省道路部
II. 実施団体の概要	
1. 団体名	一般社団法人北海道開発技術センター
2. 活動内容	寒地開発技術の進歩発展に関する業務、北海道振興に関する業務等を実施している。